

塩尻市大門地区市街地総合再生基本計画（案）に係るパブリックコメントの結果

塩尻市大門地区市街地総合再生基本計画（案）について、パブリックコメントを実施したところ、市民の皆様から貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。お寄せいただきましたご意見について、塩尻市の考え方をまとめましたので公表いたします。

1 パブリックコメント概要

- | | |
|------------|------------------------------|
| （１）意見募集期間 | 令和７年５月２３日（金）から令和７年６月２３日（月）まで |
| （２）担 当 部 署 | 建設部都市計画課整備係 |
| （３）資料の公表場所 | 塩尻市役所都市計画課窓口、各支所、市ホームページ |
| （４）意見の提出方法 | 書面、郵便、FAX、電話、電子メール |

2 意見者数 1 人

3 意見総数 1 件

注）お一人から複数のご意見を記入いただいた場合、その意見の数すべてを総数に計上しています。

4 ご意見の内容及び塩尻市の考え方

No	ご意見の内容	塩尻市の考え方
1	市民交流センターは“人づくりの中核”へ 教育・創業・国際交流の融合を 本計画で中核をなす「市民交流センター」は、単なるハコモノではなく、“人が育ち、人が育て合う場”としてデザインされるべきだと考えます。以下の 3 点の機能を組み込み、塩尻市の未来を担う人材がこの地から継続的に生まれる仕組みづくりを提案いたします。 ①【次世代育成】 STEAM 教育や探究学習を軸に、子どもたちが主体的に“問い”を立て、“創る”力を養う空間を提供することで、将来的に「塩尻発の起業家」「地域変革者」が生まれる土壌となります。 ■期待される成果： ● 地元出身の若者が外に出るのではなく、「地元で根ざして挑戦する人材」が増える ● 市内高校・大学等との連携による、教育モデル都市としてのプレゼンス向上 ● 地元企業の後継者不足の解消と、地域内循環経済の創出 ②【創業支援】 フリーランス、個人起業家、女性起業家、シニアのセカンドキャリア創業者など、多様な創業者が日常的にアクセスできる拠点として、コワーキング+相談窓口+ピッチイベントなどの機能を集約することを提案します。 ■期待される成果： ● 空き店舗を活用した「創業チャレンジ街区」の形成 ● 地元大学生や移住者によるマイクロビジネスの増加	市民交流センターは、基本コンセプト「知恵の交流を通じた人づくりの場」の実現を目指しており、市民交流センターを舞台に、知恵と情報を用いて、豊かな心を持った人づくりを進めています。この基本コンセプトの実現に向けて、図書館、子育て・青少年、シニア、ビジネス、市民活動の 5 つの分野がそれぞれの機能を発揮すると共に、それらが融合した新たなサービスを皆さんに提供することとしています。今回いただいたご提案につきましては、市民交流センターの基本コンセプトに沿った内容であり、具現化に向けてのご提案であることから、市民交流センターと共有させていただきます。

No	ご意見の内容	塩尻市の考え方
2	- 創業×教育（小中学生への起業体験学習）の相乗効果 ③【多文化共生・国際交流】 外国人労働者や留学生が増える中、地域とのつながりや日本語学習、生活支援などを行う“多文化共生コーナー”の常設は、これからの時代に不可欠です。 ■期待される成果： - 地域に根ざした「地球市民」として外国人も参画する社会 - 通訳・日本語指導人材の育成（新たな雇用機会） - 多言語対応により観光客・訪日者へのホスピタリティ向上 空き家・空き地活用は「循環型の再生モデル」へ 現在の空き家・空き地の課題を逆手にとって“まちの再生資源”と捉え、「地域×若者×学び」から生まれる再生モデルを確立していただきたいと考えます。 □具体提案： - 高校生・大学生・若手社会人による DIY リノベーションプロジェクト - 期間限定シェア型滞在施設（例：2 週間まち暮らし体験、地域ワーケーション） - 起業体験拠点としての空き家利活用（1 年限定で使える起業実験拠点制度） ■期待される成果： 「やってみたい若者」が市外からも集まるワクワク感のあるまちに - 空き家が増えるほどに“挑戦が生まれる”逆転発想 - 建築・不動産・まちづくりに関わる人材の実践機会の創出	本計画における、取組方針 1－A「居住環境の充実を目指す活動を促進する」では、空き家の活用等により居住環境を整備促進することとしています。また、取組方針 1－B「宿泊・滞在環境の充実を目指す活動を促進する」では、空き家等の既存ストックの活用による受け皿づくりを促進することとしており、ご提案いただいた内容につきましては、取組方針に資するものであると認識しています。

No	ご意見の内容	塩尻市の考え方
3	駅周辺整備には“記憶”と“未来”の融合を 塩尻駅は観光やビジネスの「第一印象」を左右する玄関口であり、歴史・文化・人の流れの交差点でもあります。 □具体提案： - 旧駅跡地の歴史展示空間と現代アートの融合（街角ギャラリー） “月 1 イベント（駅前朝市、駅×Music & Art コンサート、キッチンカー縁日）”の定期開催 - 駅□市役所□商業エリアをつなぐ回遊ルート案内サイン＋AR ガイド機能整備 ■期待される成果： 「塩尻に降り立つとワクワクする」体験の創出 - 駅周辺での滞在時間延伸と消費額向上 塩尻の“文化資本”と“デジタル”の融合による観光誘致	本計画における、取組方針 1－B「宿泊・滞在環境の充実を目指す活動を促進する」では、多様な主体によるイベント開催等のソフトの取組を促進・支援することとしており、その結果が賑わいの創出につながり、来街者の滞在時間の延長等により、宿泊や飲食店の経済活動の誘発に期待をしているところです。ご提案いただいた内容につきましては、取組方針に資するものであると認識しています。
4	TMO を「未来人材輩出機関」へ進化させる TMO は、まちづくりのリーダーを育てる“場”であると同時に、世代や立場を超えて人をつなぎ、“まちの対話エンジン”として機能するべきだと考えます。 □提案： - 地元高校・大学、地元企業との連携による「まちづくりインターン」 - 若手市民・U ターン・I ターン者向けの「まちづくり起業塾」 - 全国のTMO ネットワーク・国際都市連携との連動（視察受け入れや合同プロジェクト） ■期待される成果：	エリアマネジメントと呼ばれる地域の良い環境や価値の維持向上のため、まちづくりに関心のある地元の大学・高校、企業及び住民等による主体的な取組みに関わる主体がフラットな関係で 1 つのテーブルを囲むエリアプラットフォーム「大門まちづくり共創会議」を開催しているところです。この中で各主体間が連携し、様々な取組みが拡大されるとともに、新たな視点・発想やそのための活発な議論等の場となることを期待しているところです。今回いただいたご提案につきましても、目指す将来像「次代を担う人材を輩出するまち」の実現に向けたものだとして認識しております。

No	ご意見の内容	塩尻市の考え方
5	「塩尻でまちづくりを学んだ人材」が全国で活躍 - U・I ターン希望者の新たな受け皿 - 塩尻モデルが他地域のTMOにも波及し、広域連携が加速 塩尻発・未来都市への一歩を応援して（1～4のまとめ） 本計画には、都市整備に留まらず、「人と人が育ち合う共創都市」へと進化しようという強い意志を感じました。 「育てるまち」＝「挑戦できる余白があるまち」 「つなげるまち」＝「対話と共感が交わるまち」 こうしたまちを目指す塩尻の動きは、全国の地方都市にとって灯台のような存在になると信じています。ぜひこの計画が“絵に描いた未来”で終わることなく、実践とともに進化する“みんなの計画”として歩み続けられるよう、今後も民間からの応援と参加をさせていただきたいと思っています。 塩尻の再生は、未来を信じて行動する人々がつくります。その一歩に、心からエールを送ります。	様々なご提案や応援メッセージをいただきありがとうございます。上記4に記載のある「大門まちづくり共創会議」にご参加いただき、ご自身の想いや発想を共有され、様々な主体と連携していただくことで「共創都市」の実現に向けた場となることを期待しています。